

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式
GIS（グローバル教養学部）A方式

3 限 選 択 科 目 （60 分）

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～24	日 本 史	26～41	世 界 史	42～56
地 理	58～67	数 学	68～73		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. **数学**については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

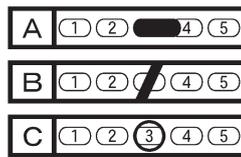
記入上の注意

1. 記入例 解答を**3**にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔 I 〕 つぎの短歌・今様 A～D を読み、下記の問いに答えよ。

A 大君は神にしいませば赤駒のはらばふ田居を都となしつ

(大伴御行*：『万葉集』)

*大伴家持の祖父の兄にあたり、「壬申の功臣」の一人。

B 今替はる新防人が船出する海原の上に波なさきそね

(大伴家持：『万葉集』)

C 故里となりにし平城の都にも色は変らず花は咲きけり

(平城天皇：『古今和歌集』)

D 極楽浄土の東門は 難波の海にぞ対^{むか}へたる 転法輪所^{てんぽうりんしよ}の西門に 念仏する人
参れとて

(『梁塵秘抄』)

問 1 A の歌の背景としてもっとも適切なものを、以下のア～エのなかから一つ
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 当時専権をふるっていた蘇我氏を倒した中大兄皇子は、難波長柄豊碕宮
において中央集権体制の強化に努め、律令国家建設の基礎を築いた。

イ 持統上皇の指導の下、文武天皇により大宝律令が施行され、新たに平城
京も造営され、日本の律令国家は完成の域に達した。

ウ 聖武天皇は国力を傾けて平城京内の東大寺に巨大な盧舎那仏を鑄造し、
仏教の力による国家の安定を願った。

エ 皇位継承をめぐる争いに勝利した大海人皇子は、都を飛鳥浄御原の地に
定め、天武天皇として即位した。

問2 Aの歌に詠まれている「都」の説明としてもっとも適切なものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 伝飛鳥板蓋宮跡(飛鳥京跡)は、発掘調査で、宮殿遺構が重層的にみつかり、この都の有力な比定地である。
- イ この都では条坊制が施行され、中国にならった最初の都城となった。後の都に比べて宮殿の占める割合が大きく、天皇の権威の高さがみてとれる。
- ウ 白村江の戦いに敗れるという国際的な緊張状態の中で、都は琵琶湖沿いの内陸に入った地に設置されたが、この地は陸路と内水路の交通の要衝であった。
- エ この都には、具体的な地名ではなく、「国をおだやかにする」という意味の抽象的な命名がなされたが、そこには支配者の治国に対する願望がこめられている。

問3 A・Bの歌の作者である大伴氏についての説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 「大伴」とは朝廷を構成する伴造のなかで有力なものという意味であるともいわれ、とくに大和政権の軍事的指導者として頭角を現していった。
- イ 大伴金村は、百済へ「任那四県」を割譲したため、物部氏の弾劾によって失脚した。
- ウ 大伴家持以降、藤原氏と対立し、橘奈良麻呂の乱や藤原種継暗殺事件を契機に、その勢力は衰えていった。
- エ 9世紀になると天皇の諱をはばかって、氏の名を「伴」と改めたが、承和の変で伴善男が隠岐に流されると、以後はいつそう振るわなくなった。

日本史

問4 下記のア～エの短歌のうち、**A・B**の歌の出典である『万葉集』に含まれていないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大君の命みことかしこみ磯いそにふ触り海原渡る父母を置きて
- イ 世間よのなかを憂しとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば
- ウ 年の内に春は来にけりひととせをこそとやいはんことしとやいはん
- エ あかねさす紫むらさきの野行きしめの標野行きのもり野守は見ずや君が袖振る

問5 **B**の歌にある防人とは古代の軍事制度の一つであるが、その軍事制度についての説明としてもっとも適切なものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 衛士とは都城警備のために一年の任期で京に向かうもので、衛門府・兵衛府に配備された。防人は三年の任期で九州沿岸警備に向かうものである。
- イ 律令制では、兵役は正丁と呼ばれる21才以上の男子が負担し、地方の軍団に所属したあと、その一部が衛士・防人として任に赴いた。
- ウ 防人が配備された大宰府は、西海道諸国・諸島を統括し、その防衛を主たる任務として、筑後国に設置された。
- エ 兵役は食料・武器を自弁するばかりでなく、任についているあいだも課役がいっさい免除されることがなかったために、大変重い負担であった。

問6 **B**の歌は755年に詠まれたものといわれている。時に家持は兵部少輔で、兵部卿は橘奈良麻呂であった。この歌が詠まれた後に起こった出来事を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 淳仁天皇の即位
- イ 藤原不比等の四子の死
- ウ 藤原広嗣の乱
- エ 『日本書紀』の撰上

問7 Cの歌は、病のため弟の嵯峨天皇に譲位した平城太上天皇が、嵯峨天皇と不和になり、奈良に移住した後に詠んだものと推定されている。このことと関わる平城太上天皇の変(薬子の変)前後の政治・社会状況についての説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 嵯峨天皇は、機密を守るために、繁雑な律令制の詔勅施行手続きを省略し、新たに蔵人所を設置した。

イ このとき蔵人頭に任命されたのは、藤原冬嗣・良房の二名である。

ウ 律令制下の八省のうち、詔勅発布に係るものは中務省である。

エ 嵯峨天皇の命で『凌雲集』『文華秀麗集』が編纂されるなど、漢文学が盛んになった。

問8 藤原氏には不比等から分れた四家があるが、藤原薬子と同じ家系に属する者の名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 藤原百川 イ 藤原冬嗣 ウ 藤原仲麻呂 エ 藤原麻呂

問9 以下のア～エのうち、平城朝に実施されたものとしてもっとも適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 一紀一班制の開始 イ 健児の制の創設

ウ 官司の削減と整理 エ 胆沢城の創建

問10 Dの今様には、当時流行していたある仏教思想が反映している。その仏教思想とはもっとも関係の薄いものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 空也 イ 『往生要集』 ウ 来迎図 エ 最澄

日本史

問11 Dの今様に、西方の極楽浄土の東門に対しているとうたわれ、多くの念仏信者が集った寺とはなにか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 法隆寺 イ 四天王寺 ウ 金剛峯寺 エ 延暦寺

問12 Dの今様が収められている『梁塵秘抄』の撰者は、保元の乱当時の天皇でもあった。この人物についての説明としてもっとも適切なものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 篤く仏教を信奉し、平安京東郊に六勝寺を相次いで建立した。
- イ 実子の堀河天皇に譲位すると、院庁を開設して、初めて院政を開始した。
- ウ 源頼朝は、彼の生前には、征夷大將軍となることができなかった。
- エ 自らの意にならぬものとして、「賀茂川ノ水・双六ノ賽・山法師」の三つを挙げた。

問13 Dの今様が収められている『梁塵秘抄』が編まれた時代には、古代歌謡を雅楽の曲調にのせ、貴族を中心に愛好された歌謡もあった。それはなにか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 田楽 イ 催馬楽 ウ 猿楽 エ 伎楽

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

鎌倉時代の後期になると、近畿地方やその周辺地域では、領主による支配の単位である荘園や [1] の内部に、いくつかの村が自然発生的に生まれ、南北朝時代の動乱のなかで、しだいに各地に広がっていった。農民たちがみずからつくり出した、このような自律的・自治的な村を [2] という。[2] は、古くからの有力農民のほかに、新しく成長してきた小農民も構成員に加え、神社の祭礼や農業の共同作業などを通じて、しだいに村民間の結合を強くしていった。

室町時代の [2] は、村民の会議である [3] の決定に従って、おとな・ [4] などとよばれる指導者によって運営された。[2] は、農業生産に必要な山や野原などの [5] を確保するとともに、灌漑用水の管理をおこなうようになった。また、領主へおさめる年貢などを [2] がひとまとめにして請け負う [6] もしだいに広がっていった。

強い連帯意識で団結した [2] の構成員は、[7] の免職や年貢の減免などを求めて一揆を結び、強訴・ [8] といった実力行使をしばしばおこなった。また、[2] の有力者のなかには、農民として領主などに年貢をおさめながら、守護と主従関係を結んで [9] とよばれる武士となるものも多く現れたため、領主の現地支配は次第に困難になっていった。

[2] は、ときには荘園・ [1] の枠をこえて連合した。このような勢力が大きな武力となって中央の政界に衝撃をあたえたのが、1428年の [10] の土一揆である。この時の土一揆は、徳政を要求し、京都の [11] などの金融業者をおそって、質物や売買・貸借証文をうばった。この頃の社会には、都市・農村を問わず、金融業が深く浸透していたため、この一揆はたちまち近畿地方やその周辺に広がった。

1441年の [12] の土一揆では、数万人の一揆構成員が京都を占拠し、室町幕府はついにその要求を受けて徳政令を発布した。その後も土一揆はしばしば徳政の要求を掲げて各地で蜂起し、幕府も徳政令を乱発するようになった。

日本史

問1 空欄 ～ に入るもっとも適した語句を，以下のア～ネのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ア 散村 | イ 惣村 | ウ 郷村 | エ 公領 |
| オ 地侍 | カ 百姓 | キ 代官 | ク 弁官 |
| ケ 土倉 | コ 米屋 | サ 入会地 | シ 蔵屋敷 |
| ス 沙汰人 | セ 奉行人 | ソ 逃散 | タ 寄合 |
| チ 評定 | ツ 引付 | テ 地下請 | ト 地下検断 |
| ナ 応永 | ニ 正長 | ヌ 嘉吉 | ネ 永享 |

問2 下線部 a に関連して，南朝の天皇の名を，以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 後花園天皇 イ 後光厳天皇 ウ 後龜山天皇 エ 後円融天皇

問3 下線部 b に関連して，室町時代の農業に関する説明として正しいものを，以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 遠隔地からの干鰯・メ粕・油粕・糠が金肥として普及した。
イ 室町幕府によって新田開発が積極的におこなわれ，耕作地が広がった。
ウ 手工業の原料として，苧・桑・楮・漆・藍が栽培された。
エ 深耕用の備中鋤，脱穀用の千歯扱が考案され，生産性が上がった。

問4 下線部 c は，ある将軍の代始めに起きた。その名を，以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 足利義持 イ 足利義教 ウ 足利義満 エ 足利尊氏

問5 下線部 d に関連して、室町時代の徳政に関する説明として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 室町幕府は、それまで質入れ、売却した御家人領を無償でとりもどすことを認める永仁の徳政令を發布した。

イ 分一徳政令とは、土一揆の圧力に押された寺院や神社が独自に發布した徳政令のことである。

ウ 金融業者は、室町幕府と結びつき営業税をおさめていたが、徳政一揆によって打撃を受けた。

エ 私徳政とは、債務額の一部を納入することを条件に、債務の破棄を認めることである。

問6 下線部 e に関連して、室町時代の貨幣に関する説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 日明貿易によって、大陸から永楽通宝がもたらされた。

イ 輸入銭に加えて、粗悪な私鑄銭が流通するようになった。

ウ 年貢や公事を銭貨にかえて納入させる銭納がおこなわれた。

エ 幕府によって銭貨が鑄造され、西国で流通するようになった。

問7 下線部 f の機構に関する説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 管領は、将軍を補佐する中心的な職で、侍所・政所などの中央諸機関を統轄した。

イ 侍所の長官(所司)は、赤松・一色・山名・京極の4氏から任命されるのが慣例であった。

ウ 奉公衆は、古くからの足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士などから編成された。

エ 鎌倉府には、長官の鎌倉公方を補佐する関東管領がおかれ、今川氏が任じられた。

日本史

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

2代将軍の徳川秀忠¹は、将軍職を子の家光にゆずり、家康にならって大御所となった。これにより、秀忠が没するまで江戸城西丸の大御所と本丸の将軍とによる二元的な政治が展開されることになった²。

秀忠の死後、家光は九州の大名を改易し、ついで軍役の規定を改定し、1634(寛永11)年³には30万余りの軍勢を率いて上洛した。これらの行動は、軍事指揮権を掌握した家光の力を誇示するものであり、この政権の安定をはかるためのものであった。幕府の軍事力は、将軍直属の家臣団である旗本・御家人のほか、諸大名の負担する軍役で構成されており、他に類を見ない圧倒的なものであった。

幕府の職制は、家光のころまでに整備され、老中は政務を統轄し、若年寄は老中を補佐し旗本を監督した。また、大目付・目付⁵のほか、寺社奉行・町奉行・勘定奉行の三奉行⁶がおかれ、それぞれの業務分担が固まった。さらに、三奉行が独自で裁決できない重大事や管轄のまたがる訴訟などは評定所でおこなわれ、老中・三奉行らが合議して裁決することになった。地方組織では、朝廷の統制や西国大名の監視などをおこなった京都所司代、重要都市には城代⁷・町奉行、その他の幕府直轄領には奉行(遠国奉行)⁸や郡代・代官が派遣された。

家光は1635(寛永12)年6月21日、新たな武家諸法度(寛永令)⁹を發布し、諸大名に法度の遵守を厳命した。この日、江戸城大広間に集められた諸大名を前に、林道春(羅山)が武家諸法度を読み上げた。これは、1615(慶長20)年の武家諸法度(元和令)¹⁰を大幅に改めたものであった。家光のころまでに、領知を与えられた大名は軍役や普請役などを賦課され、それによって将軍と諸大名との主従関係が確立した。

幕府体制の整備とともに、日本人の海外渡航や貿易に制限が加えられるようになった。寛永年間(1624-1644)には相次いで鎖国に関する法令が出され¹¹、鎖国へと進んでいった。以後、200年余りにわたって、一部の国々や民族を除いて交渉を閉ざすことになった。幕府が閉鎖的な対外関係を維持できたのは、当時の日本の経済が海外との結びつきがなくとも成り立ったからである。

寛永末年、天候不順や自然災害により大飢饉が発生した。幕府は、全国の大名

らに不作で疲弊した百姓を育むように命じ、食料となる五穀を確保するため酒やうどん・饅頭などの製造を禁じた。近世社会の産業の中心は農業であり、百姓の小経営と暮らしを支えるのが領主の使命であった。いっぽう、百姓は年貢・諸役¹²を村単位で賦課され、米穀や貨幣などで領主に納めた。幕府は1643(寛永20)年に田畑永代売買の禁止令を出し、百姓の小経営を安定させ、年貢・諸役の徴収を確実にしようとした。

問1 下線部1に関連し、徳川秀忠の将軍時代の出来事として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 幕府が糸割符制度を設けた。
- イ 琉球王国が薩摩藩の支配下に入った。
- ウ 娘の徳川和子(東福門院)が入内した。
- エ イギリスが肥前の平戸に商館を開いた。

問2 下線部2の期間の出来事として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 紫衣事件が発生した。
- イ 幕府がスペイン船の来航を禁じた。
- ウ 鳥原の乱がおこった。
- エ 後水尾天皇が譲位した。

問3 下線部3に関連し、このとき改易された九州の大名として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------|----------|
| ア 筑前の黒田氏 | イ 肥後の加藤氏 |
| ウ 薩摩の島津氏 | エ 肥前の鍋島氏 |

問4 下線部4の年に在位していた天皇として正しいものを、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 後陽成天皇 イ 明正天皇 ウ 後西天皇 エ 後水尾天皇

日本史

問5 下線部5に関し、大目付・目付の説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大目付は大名の監察にあたった。
- イ 目付は旗本・御家人の監察にあたった。
- ウ 大目付・目付とも旗本から任命された。
- エ 目付は大目付の支配に属した。

問6 下線部6に関して、その説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 三奉行は評定所の構成員であった。
- イ 寺社奉行は將軍直属で譜代大名から任命された。
- ウ 町奉行は旗本から任命された。
- エ 勘定奉行は將軍直属で幕府財政を担当した。

問7 下線部7に関連し、城代がおかれた城の名称として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 奈良 イ 伏見 ウ 二条 エ 駿府

問8 下線部8に関連し、遠国奉行がおかれた町の名称として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 長崎 イ 山田 ウ 甲府 エ 日光

問9 下線部9に関して、この法令で新たに決まった内容として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 参勤交代を義務づけた。
- イ 幕府の許可なく私設の関所を置くことを禁じた。
- ウ 500石積み以上の船の建造を禁じた。
- エ 大名の居城を一つに限定した。

問10 下線部10に関して、その説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 徳川家康が金地院の崇伝に起草させた。
- イ 17カ条から成文化されていた。
- ウ 将軍徳川秀忠の名で発布された。
- エ 江戸幕府が諸大名の統制のために制定した。

問11 下線部11に関連し、この時期の鎖国政策の説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 中国人には長崎と平戸への入港を許した。
- イ 平戸のオランダ商館を長崎の出島に移した。
- ウ ポルトガル船の来航を禁止した。
- エ 日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を禁止した。

問12 下線部12に関して、年貢・諸役の説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 小物成は山野河海の利用や農業以外の副業などに課された。
- イ 本途物成は田畑や家屋敷の高請地に対して課された。
- ウ 高掛物は農作物の売上高に応じて課された。
- エ 国役は一国単位で河川の土木工事での夫役労働などで課された。

日本史

〔Ⅳ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

「数奇な運命」という言葉は、人間だけでなく、建造物や都市に対しても当てはまることがある。明治維新後に名古屋城がたどった歴史は、まさしくその典型と
いってよい。

近世において名古屋城は、徳川家康の九男義直を初代とする尾張(名古屋)藩の居城であり続けた。その尾張藩は明治維新後、ほかの多くの藩と同様に版籍奉還^aを経て廃藩置県により消滅の歴史をたどる。

明治維新後の変化の波は、名古屋城にもさまざまな形で押し寄せる。1871年4月、城のシンボルと
いってよい、天守最上層に輝く金鯨が取り外された。このうち雄鯨は1872年に東京湯島で開催された文部省¹主催の博覧会に出品されている。

1872年、名古屋城は陸軍用地となり、東京鎮台第三分営がおかれた。翌年には徴兵令²の発布に先立ち、名古屋鎮台がおかれた。その後、1888年に師団制が導入されると、名古屋鎮台は第三師団となる。

陸軍用地となったことをうけ、二の丸・三の丸にあった建造物の大半は取り壊された。そうしたなか、城郭の保存をもとめる声
が上がる。1872年にはドイツ公使ブランドが本丸御殿の障壁画に感銘を受け、保存を訴えた。同年6月には文部大丞町田久成らが名古屋城の保存をもとめる意見書を政府に提出した。町田は1882年、上野に開館した博物館(現在の東京国立博物館)の初代館長をつとめるなど、文化財保護³に尽力した人物として知られる。

1879年7月には、陸軍卿西郷従道より名古屋城・姫路城を修理して永久保存の道を講じたいとする上申があり、これをうけて保存が決定された。なお天守から取り外された金鯨も同年には返還されている。

保存となった名古屋城だが、1891年10月28日に発生した濃尾地震⁴により櫓や門が大破するなど被害を受けた。修復については、陸軍省が費用を負担し、古建築の修理に関する技術を有する宮内省が実務を担った。1893年、本丸付近は宮内省に移管され、名称も名古屋離宮となった。皇室の離宮であるため一般に公開されることはなかったが、鉄道国有化⁵がおこなわれた1906年には、鉄道五千哩^{マイル}祝賀会が名古屋で開催され、5月20日には一日限りで離宮内の拝観が許されている。

離宮以外の城跡の多くは、第三師団の施設に用いられたが、1927年11月には、三の丸跡の練兵場でおこなわれた陸軍大演習の観兵式において、陸軍二等卒北原泰作が、軍隊内の部落差別問題⁶の改善をもとめて昭和天皇に直訴する事件が起きている。

1930年12月、名古屋離宮は廃止され、土地・建物は名古屋市に下賜された。これに伴い天守・本丸御殿などの建造物が国宝(旧国宝)に指定された。市の所有となったことから、1931年より一般公開されるようになり、多くの人々が観覧におとずれた。そのなかには歌人の与謝野晶子⁷もいた。彼女は1935年に名古屋城をおとずれ、「青空の千尋の海に跳るなり名古屋の城の金色の魚」(『定本与謝野晶子全集』第七卷)などの歌を詠んだ。

長らく名古屋のシンボルとして威容を誇った名古屋城であったが、1945年5月14日の空襲により天守・本丸御殿など多くの建物が失われた。

戦後しばらくは、一部の櫓や門をのぞけば石垣だけという無残な状態だったが、失われた天守を再建しようという声が市民の間で高まり、コンクリート造で再建されることとなった。工事は1957年6月より1959年8月までおこなわれ、1959年10月に竣工した。その後、⁸21世紀に入ると本丸御殿が再建され、現在は天守の木造再建が議論されるなど、「数奇な運命」は今なお続いている。

[参考文献]小西恒典「数奇な運命をたどった、明治以降の名古屋城。」(『近世城郭の最高峰名古屋城』所収)

問1 下線部1に関連して、文部省にかかわる説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア フランスの学制にならい、1872年に学制が公布された。

イ 1879年に教育令を公布したところ、大きな混乱を招いたため、翌年には学校令が公布された。

ウ 1907年、日本画・西洋画・彫刻の三部門からなる文部省美術展覧会が開設された。

エ 1933年、文部大臣鳩山一郎は、自由主義的な刑法学説をとる京都帝国大学教授滝川幸辰の処分を求め、大学側に圧力をかけた。

日本史

問2 下線部2に関連して、徴兵制にかかわる説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1872年には全国徴兵の詔にもとづき、太政官より徴兵告諭が出された。
- イ 1873年に公布された徴兵令により、満20歳以上の男性から選抜して3年間の兵役につかせることとなった。
- ウ 徴兵令には当初、直接国税15円以上をおさめるものには兵役免除を認める規定があった。
- エ 徴兵令に反発した各地の農民たちは一揆を起こした。この一揆は、徴兵告諭の文言にちなんで血税一揆とよばれる。

問3 下線部3に関連して、1897年に制定された文化財保護の法律の名称として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 文化財保存法
- イ 宝物保護法
- ウ 旧物保護法
- エ 古社寺保存法

問4 下線部4に関連して、この地震を研究し、のちにその名を冠した地震計の発明や、初期微動の継続時間から震央までの距離を求める式を提唱した地震学者の名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 鈴木梅太郎
- イ 木村栄
- ウ 大森房吉
- エ 本多光太郎

問5 下線部5に関して、鉄道国有化にかかわる説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 鉄道国有法は第一次西園寺公望内閣のときに公布された。
- イ 主要幹線の民営鉄道17社が、このときに国有化された。
- ウ 日本鉄道・甲武鉄道は、このときに国有化された。
- エ 輸送の能率化を重視したため、全国を6分割する形でおこなわれた。

問6 下線部6に関連して、部落解放運動にかかわる説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 全国水平社は1923年、西光万吉らを中心に結成された。
- イ 全国水平社の旗は、荊冠旗といい、西光万吉が考案した。
- ウ 1946年、部落解放全国委員会が結成された。
- エ 1969年、同和対策事業特別措置法が施行された。

問7 下線部7に関し、与謝野晶子にかかわる説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 「君死にたまふこと勿れ」とうたう反戦詩を日露開戦後に発表した。
- イ 夫の与謝野鉄幹とともに硯友社を主な舞台に活動した。
- ウ 歌集『みだれ髪』を発表した。
- エ 雑誌『婦人公論』において、平塚らいてうと母性の保護をめぐり論争した。

問8 下線部8に関連して、この時期に起こった出来事として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 南極観測の開始
- イ 教員の勤務評定を全国的に実施
- ウ L T貿易の開始
- エ 日米相互協力及び安全保障条約調印

問9 下線部aの版籍奉還について80字以内で説明せよ。なお歴史的事項については、漢字で答えること。また句読点は1字分とし、西暦などの算用数字は2桁を1字分として記入せよ。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→
